

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月5日（木）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災教育」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2組 計62名）を対象に、出前講座「川の防災教育」を実施しました。

本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第2回目の講座を行いました。

今後、第3回講座を10月18日に実施する予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

日時：令和5年10月5日（木） 9:30～11:00

場所：春日新田小学校 校区内 ※現地学習ルートは別図-1を参照

参加者：春日新田小学校4年生 62名

- 内容：
- ①洪水時に危ない場所
 - ②地元町内会長による7.11水害のお話、昔の戸野目川のお話
 - ③被災住民による7.11水害のお話



小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月5日（木）

● 講座の様子



洪水時に危ない場所：用水路
普段は水量が少ないですが深さは2m以上あり、洪水時には大量の水が勢いよく流れるため危険ということを説明しました。



洪水時に危ない場所：縁石
洪水時には、縁石が濁った水の下となり見えなくなることから、つまずいて転ばないように注意を払う必要があることを説明しました。



7.11水害のお話（安江2丁目）
安江2丁目町内会長より、この交差点は周囲より低くなっており7.11水害当時は戸野目川からあふれた水が溜まったとお話を聴きました。



当時の浸水状況（安江2丁目）
7.11水害時には児童の腹部ほど（約70cm）まで浸水したこと、ここまで水位が高いと転倒や流される危険もあることなど説明しました。



洪水時に危ない場所：水田
道路より低い水田などは、洪水時に浸水するとより水深が深くなり、不意に落下し溺れることもあるため危険であることを説明しました。



予定ルートの説明（学校）
雨風が強まったため現地学習は中止して学校に戻り、行く予定だった箇所について資料を見ながら学習しました。



7.11水害のお話（松村橋）
安江2丁目町内会長より、7.11水害当時の堤防は低く、堤防を越えた水が住宅地にあふれ、かなりの広範囲が浸水したとのお話がありました。



7.11水害のお話（松村新田）
松村新田町内会長より、7.11水害時には、住民が堤防上に土のうを積んで水があふれるのを防ごうとしましたが、止めきれず越水し、町内に水が流れ込んでしまったとのお話がありました。



今回のまとめ
今回の講座で確認した洪水時に危険なポイントについて振り返りました。また宿題として、自分の通学路上で危険なポイントを探してくるように指示しました。

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月5日（木）

「川の防災教育」第2回 別図-1 現地学習ルート

